

# 行政報告

- ① 多重債務者対策の取り組みについて
- ② 県立津川病院の小児科医対策
- ③ 指定ごみ袋の有料化について

① 多重債務者対策については、消費者金融等による多重債務者はどこにも相談できないまま生活に行き詰まり、会社の倒産、家庭崩壊等と本人や家族そして地域社会にも大きな影響を与えております。当町としましては、「町民生活課の総合窓口」で対応することとし関係課職員を対象に多重債務の実態等についての研修会を実施しました。

② また、今後は多重債務対策に取り組んでいる県司法書士会や県弁護士会の協力で無料相談会を開く予定です。

③ 県立津川病院に小児科医として勤務されていた渡部先生が、五泉市内に開業するということが、8月で津川病院を退職されました。当町とし

ては、代わりの医師の配置を県に要望しました。当面、週3回程度、大病院から津川病院に医師の派遣を受けて診療にあたる体制をとることとしました。来年度以降の対応については、先般、澤野県議、院長と新大病院小児科医の医学部長さんにお願い申し上げたところです。

③ 地球的規模で環境悪化が進む今日、国民的課題として「排出の抑制」「再生利用」の観点から、現在実施している各家庭への指定ごみ袋の無償配布を廃止し、指定ごみ袋の有料化を新年度から実施する予定です。

## 請願及び意見書

◎ 道路特定財源の一般財源化に伴う地方の道路予算確保に關する意見書

〈主旨〉  
平成21年度から一般財源化するに際しては、道路整備や維持補修に支障の生じないような予算確保や地方の意見に十分配慮する意見書

◎ 子供達が学費を心配せず私立学校で学べるような私学助成の増額・拡充を求める意見書

〈主旨〉  
私立高校における学費は公立の5倍に達しているが、私学助成は公立の1/3にとどまっている。学費と教育条件の公私格差は正の観点から私学助成の拡充を求める意見書

◎ 燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める意見書

〈主旨〉  
石油、肥料、飼料等の高騰分の補償を含む対策

また、原油や穀物への投機の規制を国に求める意見書

◎ 介護労働者の処遇改善をはじめ介護保険制度の改善を求める意見書

〈主旨〉  
介護報酬を引上げ、介護労働者の処遇改善をすること。また、必要な介護サービスの保障をすること。以上を実現するべく国の負担を大幅に増やす意見書

◎ 新たな過疎対策法の制定を求める意見書

― 以上すべて採択されました。



工事中の三川小中学校(工期11月28日)

## 編集室より

▼今、各地域ではこの秋の「五穀豊穡」に感謝してそれぞれの神社で祭りがとり行なわれている。五穀とは「こめ、むぎ、あわ、きび、まめ」をいうのだが、この飽食の時代、耳なれない世代の方が多くなっているのではないだろうか。そして「事故米」「不良米」などの新種米の出現には驚かされた。

▼9月25日に佐渡の大空に27年ぶりにトキが舞った。99年に中国から贈られたトキの人工繁殖の賜物である。同時にトキのすめる環境を整えるべくこれまで努力してきた佐渡島民の汗の結晶ともいえる汚染米ではなく、「認証米」環境の島」を全国に発信して欲しい。(神田)

### 編集委員会

- 委員長 波田野 泰博
- 副委員長 神田 八郎
- 委員 伊藤 武一
- 委員 清田 輝子
- 委員 宮川 弘
- 委員 土屋 勝則

# あがまち

## 議会だより



食味にこだわるはぎ掛け米

## 主な内容

平成19年度決算..... 2~3P

補正予算 ..... 4P

委員会報告 ..... 5P

一般質問 ..... 6~18P

若者の意見・提言 ..... 19P

行政報告・請願陳情 ..... 20P

No.14  
2008.11

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112  
新潟県東蒲原郡阿賀町津川580番地  
発行責任者：議長 遠藤信也

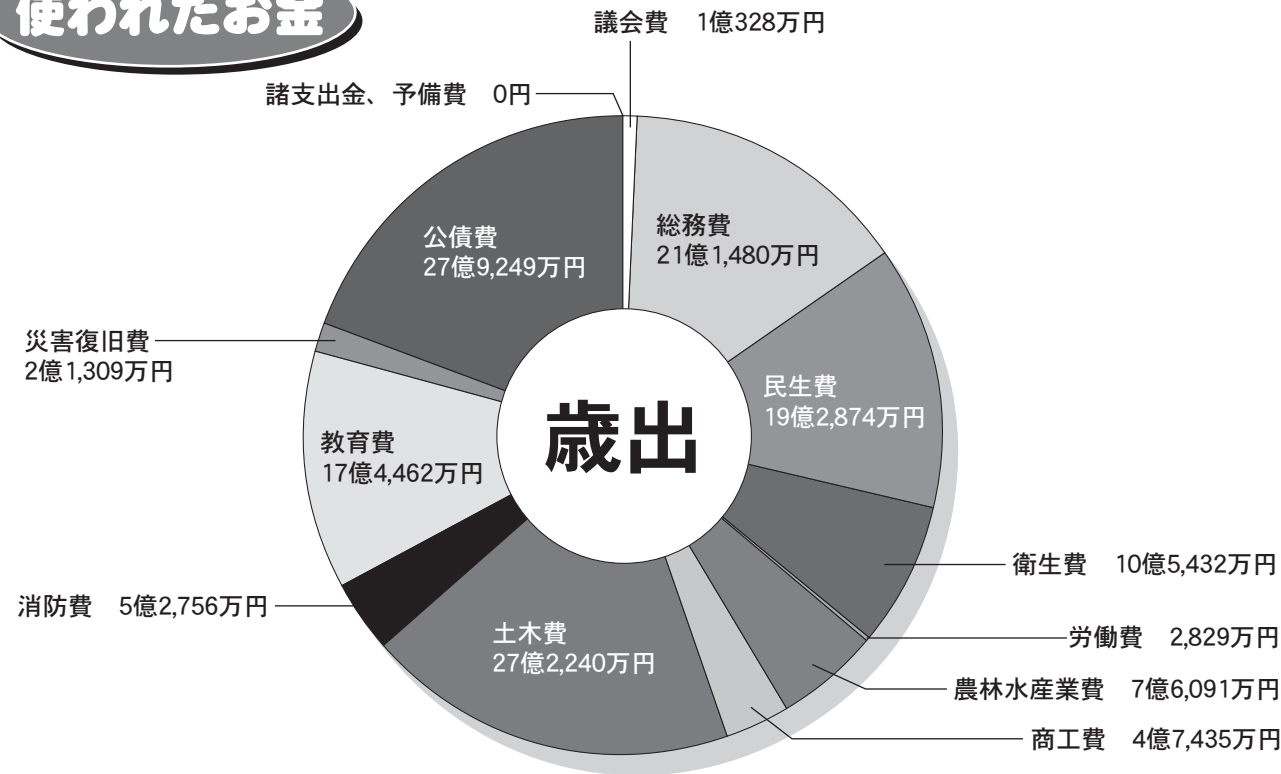
※再生紙を使用しています。

平成19年度決算

一般会計

歳入	147億7,806万円
歳出	144億6,489万円
差引黒字	3億1,317万円

使われたお金



特別会計の決算状況

	歳入	歳出
国民健康保険	19億5,269万円	19億4,962万円
老人保健	22億4,879万円	22億3,937万円
介護保険	18億1,418万円	17億5,404万円
介護サービス	1,502万円	1,467万円
診療所	2億8,447万円	2億8,236万円
簡易水道事業	13億2,233万円	13億2,203万円
下水道事業	11億3,023万円	11億2,978万円
工場団地造成事業	1,361万円	1,361万円
町営スキー場事業	7,576万円	7,574万円
水道事業会計	歳入	歳出
収益的収支	1億3,483万円	1億5,158万円
資本的収支	1,400万円	5,442万円



南部地区簡易水道施設(上川)

歳出総額

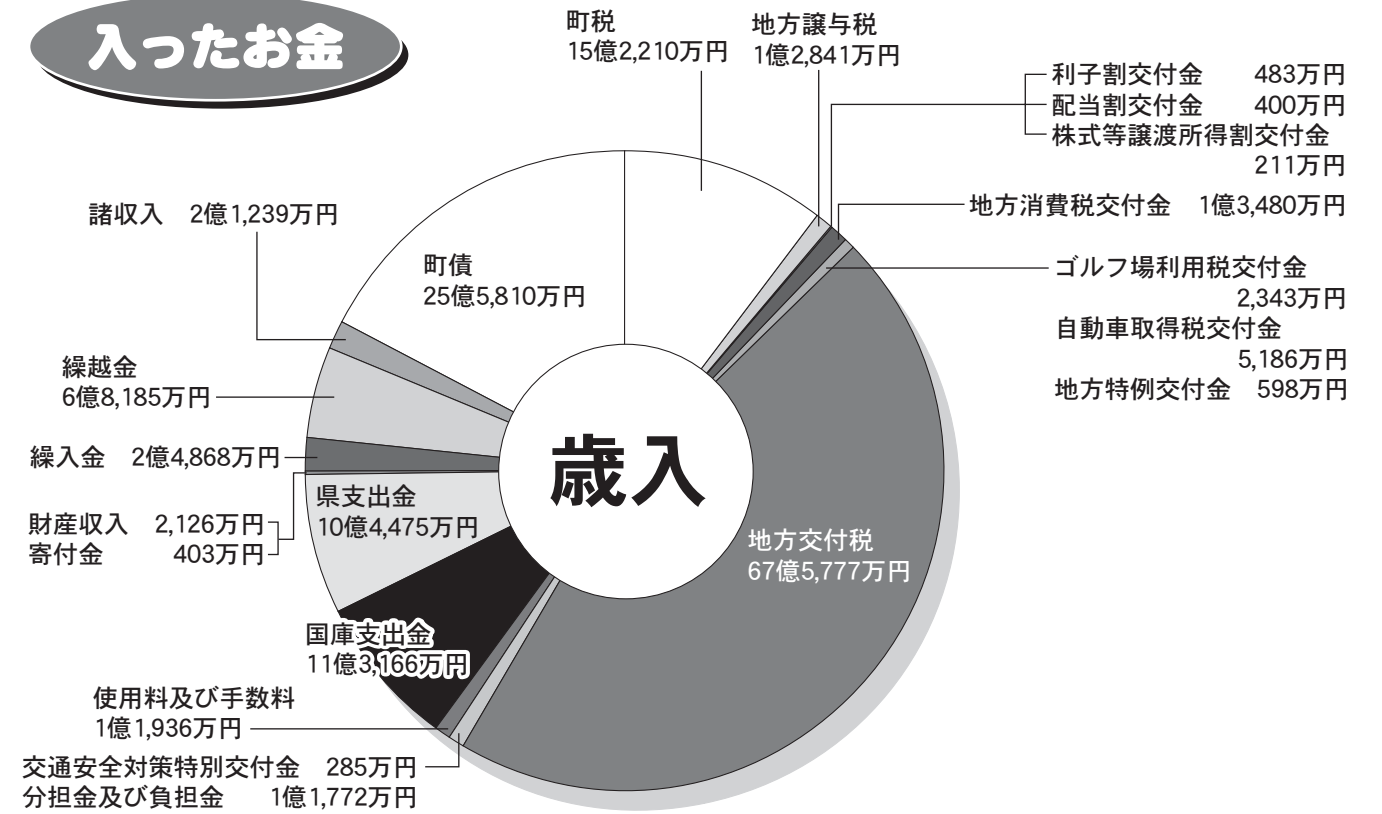
144億6,489万円認定

2008年

9月定例会

10~19日

入ったお金



平成19年度の  
主要施策事業の  
(抜粋)

情報ネットワーク基盤整備事業実施設計業務委託料	717万円
灯油価格高騰緊急対策事業	540万円
観光客誘致拡大事業(奥阿賀めぐりナビプロジェクト実施事業)	603万円
町営住宅建設事業	2億2,471万円
阿賀町公共交通体系の再構築(生活交通確保対策事業)	5,112万円
ごみ処理対策事業	1億1,700万円
災害対策事業(ハザードマップ作成業務)	533万円
妊産婦及び乳幼児医療費助成事業	2,483万円
町立小中学校パソコン整備事業	4,857万円

**決算審査特別委員会**  
委員長 山口周一

去る9月11日、本会議において、本委員会に付託された平成19年度阿賀町各会計歳入歳出決算、ほか付属書類について、9月12日から4日間、わたり質疑応答がおこなわれ慎重なる審査の結果、全会一致で認定するものとした。

**監査委員会からの意見**  
阿賀町代表監査委員 田沢利博

①税、料の不納欠損額圧縮について、公平性確保のための努力を望む。  
②入札方法については改善の方向性が見えてきた。  
③備品の台帳管理については消耗品と備品の混在、予備品の未管理など、備品も町の大切な財産だという認識に立ち確実な管理を望む。  
④高齢化集落の実態から限界集落の住民の声に応え、ニーズに合った取り組みを望む。  
⑤各種施設の統廃合により、遊休施設が発生。解体または再利用について積極的な取り組みを望む。

# 2008年9月定例会 補正予算

## 一般会計予算 1億1,098万1千円を追加し 146億4,469万円となる!

### 一般会計の主な支出

- ◎障害者への補助金等の精算還付金  
.....1,338万円
  - ◎老人保険特別会計繰出金  
.....1,981万2千円
  - ◎林業施設整備事業補助金  
.....1,162万5千円
- 郡森林組合職員の福利厚生施設建設の補助を県から50%、町から25%補助する。



期待される林業の担手郡森



平成22年3校統合(上条小学校)

### 変革を求められる地方議会

- 分権化によって各自治体は、地方政府として、中央政府と対等になる。
- そのために、国、県より財源と権限が移譲される。
- 地方政府(町住民、行政、議会)は、自らの行政サービスについて、自ら決定する権限と義務がある。
- 自らを立つ(自立)するためには、財政において身の丈にあった運営をしなければならない。(議会の財政チェック機能)
- 自ら律する(自律)ため、条例の上書き権を与えられる(議会の法制機能)
- 分権化に向けて、議会の役割が大きく変遷をとげた、議会の機能を発揮するために、変革しなければならない。

※訂正・お詫び  
前回の8月1日発行のNo.13、16ページ、第三セクター、公社決算三川農業振興公社の決算、当期損失△6,491,091円を、14,166,420円に訂正いたします。  
謹んでお詫び申し上げます。

### 社会厚生

委員長 山口 周一

実施日 平成20年8月22日(金)

調査場所

- (1)阿賀町斉場の建設予定地
- (2)学童保育の現況
- (3)不法投棄現場の確認

#### ◎調査の結果

##### (1)阿賀町斉場

当初、平成21年5月完成予定の新斉場は、建設予定地の境界立合いがやっと終え、これから用地買収、立木補償に入る段階で、来年5月完成はむずかしいとのこと。

新火葬炉は2基で灯油を燃料とし、非常用電源を備え停電時にも対応可能とする施設。現施設の老朽化が著しいため、一日も早い完成を望む。

## 委員会報告

### (2)学童保育

津川地区に「すこやかクラブ」、三川地区に「わんぱくクラブ」が開設され、共働き世帯等に対し子育て支援をしている。平日と、春、夏、冬休みに開設。放課後、長期休暇時、学童の指導を行い、現在2施設合計で



未来の宝

35名を預かっている。

わんぱくクラブの裏手と、隣のあき地が崖になっているので、転落防止のフェンス設置を望む。

(3)不法投棄の現場確認  
旧4力町村は、過去に不法投棄のあった現場を視察、共通している点は、車の通りが少ない場所である。草刈などの管理で捨てにくい環境の維持を望む。町も不法投棄巡視員を専任し、19年度は124件も発見している。これからはもっと巧妙化するであろう不法投棄、林道は施工した建設業者、居住区域付近は町民に協力を願い不法投棄の防止と、摘発にまでつなげてもらいたい。

#### ◎まとめ

将来、子供達の健全な育成ときれいな町を引き継いでもらうため、学童保育の充実と不法投棄の撲滅できる体制を望む。

### 産業建設

委員長 高橋 渡

実施日 平成20年8月7日(木)～8日(金)

調査地

○新潟県魚沼市・魚沼地域振興局調査目的

○当町の特産品及び地域振興について。  
調査概況

県の中山間地農業技術センター及び魚沼地域振興局管内の花卉団地、山菜栽培施設の視察と魚沼振興局長からの講話を受ける。

#### 山菜の栽培

##### 堀之内、田川平地区

- (1)たらの芽 夏場に親木を育て12月から5月まで促成栽培、大阪青果市場等主に関西市場中心に出荷。販売7,000万円
- (2)うるい 同じく促成栽培にて関西市場へ出荷。販売額3,500万円
- (3)ナルコユリ(草花) 主に生け花の脇役、1本20円～30円で販売額は3,000万円。
- (4)ユリ、シャクヤク(切り花) 全国100市場へ出荷、日本一の産地として発展、売上高19億円



ユリの栽培

### (5)魚沼地域振興局長講話

尾瀬魚沼地域20年ぶりの国立公園に指定される。魚沼四季物語を作成春から冬までのPRを図っている。阿賀町の活性化について。

自然、文化、歴史に恵まれた地の利を生かす。豊富な食材(山菜、きのこ)の活用。観光園の活用として西会津との連携はどうか。

#### まとめ

農地荒廃への歯止めがかからない状況にあり国のすすめる遊休耕作地ゼロ対策にどう取り組むのか、その受け皿としての特産品を模索する必要からこの度の研修を企画し、数々の成果を上げる事ができました。



# 町政を質す

宮川 弘 懿 議員

**町長** 4月から7月まで、前年対比で、客数で2万3千人、売上で3,800万円余り減少しています。しかし即座に対応しています。

委託する際マイナス2,500万円ありましたが、これを1,300万円にしております。

## 即対応、赤字圧縮

## 売上減少と なっていないか

**質問**

同会社の再建計画は、前年度の客数、客単価に、異動がないことを前提としています。今年に入って、アメリカのサブプライムローンの問題から始まって、ガソリンの高騰諸物価の値上がり等からくる不況感からして、売上減少をきたしておりませんか。

## (1)株式会社阿賀の里の問題点

**質問**

売上が減少しても、販売管理費を下げ、実績の数字を重く見て、検証と見直しを常に繰り返している。その経営姿勢は、まさに近代的経営手法であり、信頼のおける会社だと思えます。

## 町として 積極的な協力を

**町長**

町としても、積極的に協力すべきと思いますが、いかがでしょうか。



よみがえるか阿賀の里

## 情報収集、 職員の派遣等 積極的に

**質問**

どれくらい寄附がありますか。

**町長**

8月末現在22名の方から、53万5,000円いただいております。

## (2)ふるさと 納税「阿賀町 応援寄附」 現在の状況は

**質問**

をしてゆきたいと思っております。

**町長**

他町村では、新たにふるさと納税課を設けたり、特別担当者を設けて営業にあたらせている自治体のテレビ報道がありました。もつと積極的にやるべきと思いますがいかがですか。

パンフレットの配布やホームページ、あるいは「広報あが」によって、呼びかけております。当町におきましては、企画観光課が総括的に担当しておりますが、さまざまな機会をとらえて、PRして参りたいと思っております。

## ふるさと阿賀町応援寄附



心ゆくふるさと納税パンフレット



# 八田蟹地区小規模急傾斜崩壊防止事業と新箕輪線について

石田 守 家 議員

**本年度着工、既に完了している八田蟹地区小規模急傾斜崩壊防止事業について。**

## 災害責任と 事業系統は

**質問**

県営の事業が町単独、当初計画とは若干違う事業体系だが、当崩壊場所は鬼越地区頭首工、南部浄水場の取水と水環境は併行しております。急傾斜地点は民有地も含まれている。常浪川河川は県の管轄、事業管理と災害発生等の場合、県と町のいづれの責任なのか今後の事業継続もあわせ見解を求めます。

次に、栃堀区から谷沢地区に至る基幹林道新箕輪線について、延長約18キロは数年前から開通されていません。供用開始後



八田蟹地区の急傾斜地

たび重なる豪雪、豪雨等で災害発生から全線の林道機能は皆無に等しい感があります。新規に県営八木山・田沢・小出線の開設計画も進めていきます。開設されても維持管理責任、生かされた林道機能が、常時活用されてないのが現状です。

新箕輪線は本来の目的から遠く離れています。ふるさと林道の利用状況、野放し状態と思えますが管理体制、復旧計画など全般についての答弁を願います。

## 河川区域内は 県の責任

**町長**

県営事業負担金から県単補助事業で対応するよう県より連絡がありました。

当事業は今年度に繰り越し7月末完了いたしました。下流には農用水柄堀頭首工、栃堀橋下流右岸の圃場内には南部浄水場の取水井戸と重要な施設が点在しています。

ご指摘の急傾斜地は更正図上、無地番と一部民地が混在している。災害発生時の責任範囲ですが、河川区域内の被災については、管理者である県が復旧すべきと考えます。また、今後の事業見通しですが、八田蟹の神社付近から下流の栃堀橋付近までです。

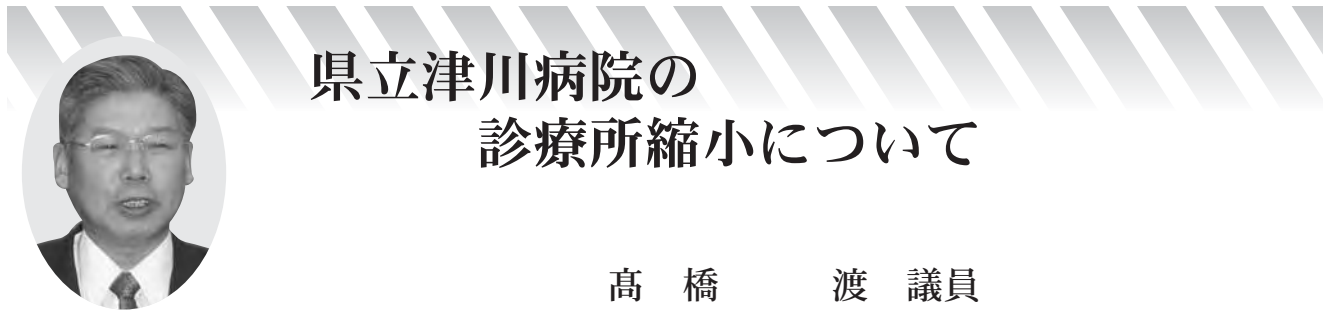
河川部分の護岸も含め引き続き要望して参ります。



林道新箕輪線

次に、新箕輪線の現状ですが、平成元年に全線開通し、利用区域面積4千60ha杉の人工林、天然林、町有林を初め公社造林、生産森林組合、区の共有林等広大な森林資源を有しております。

供用開始後幾度となく災害に見舞われ本年度は18年度発生の災害復旧を完了したところです。路線延長が長いため除草作業など限られた予算で支所と連携を図り効率的に今後も努力して参ります。



## 県立津川病院の診療所縮小について

高橋 渡 議員

**町長** 新潟県の医師不足は皆さん充分認識のとおりで勤務医は拘束時間が長い自分の勉強する時間にも必要等の要因から独立されるケースが多いのではなか。渡部先生が五泉で

継続して働きかける



県立津川病院

### 県立病院のあり方にも注目

**町長** この問題の不足の事態というのには聞いておりませんが、特になかったと思えます。県下の情勢を考える中で県立病院のあり方というのはこれか

新潟県の医師不足は皆さん充分認識のとおりで勤務医は拘束時間が長い自分の勉強する時間にも必要等の要因から独立されるケースが多いのではなか。渡部先生が五泉で

### 常勤医確保を

**質問**

小児科医が8月末をもって退職し、常勤医がいなくなり町と病院は新潟大学へ要請した所、常勤医は確保されずに週3回、午前中のみ診療になること。また、休診日は五泉市と阿賀野市、夜間救急は新潟市へと、育ち盛りの子供を持つ親としては大きな不安であり、病院は医療者としての責務を放棄したに等しく、強い憤りを覚える。町として早急に県に要請し、今迄おりの常勤医による診療に向けた取り組みを望むものです。

### だんの山線の改良を

**質問**

津川正法寺上の町道だんの山線は住民の強い要望として

### 県立病院存続を担保せよ

**質問**

週3日、午前中のみ診療は非常に憂慮すべき問題でありこの間、不測の事態はなかったか。小児科常勤医の体制は堅持していただきたい。他の診療科が縮小になるような波及は絶対あつてはならないし県立病院としての機能存続を県知事にお願ひしていただきたい。いろいろ話を取り沙汰されています。一町に県立病院はふさわしくないと、あくまでも四町村という認識に立つて県立津川病院を未来永劫にわたってその存続を担保させなければならぬと私は思います。

### 法人は営利団体

**質問**

県知事の考えについて行くのではなく、地域の医療は地域で守るといふ強い信念で進んで行ってもらいたい。組織替えは地域医療崩壊につながるものでないか、ましてや法人というのは営利団体であり、利益が出なければ撤退もあり得るので安心・安全な町づくりは根本から崩れてしまうのではないかと私は危惧していますがいかがか。

**町長**

根本から崩れるような医療体制は考えておらず、これを充実させる為にかかあるべきかを勉強していこうとしているもので、安心して安全に暮らせる体制づくりにまい進して行きたいと思っております。



## 津川船着き場の浚渫を!!

薄 巖 弥 議員

**質問** 津川河港は、会津藩の西玄関口として繁栄しました。時代の流れの中、揚川ダムができて、船着き場は湛水しその面影はありません。七月末、大牧公民館下が決壊し、災害復旧のためダムは放水し川底がでてきました。(写真参照) これが本来の阿賀野川の姿であるべきですが、土砂が堆積し昔の面影は無くなりまして。問題なのは、  
①洪水時、川上のダムから何千トンも放水しますが、川底があれだけ堆積しているのに大丈夫なのか心配です。  
②船の運航やボートがその周辺に行っても危険はないのか疑問です。  
船着き場周辺の土砂の堆積は、東北電力の責任なのか、河川管理者である県の責任なのかいづれにせよ早急な浚渫をするよう関係機関に強く要望していただきたい。

### 麒麟橋下流も含め県に要望する

**町長**

今回のダム放流で新河戸付近のみならず、土砂の堆積が確認されたといいますが、露呈したといったほうがいいかもしれません。現在の水位が維持されておれば、船やボートに支障がないと判断されていますし、来年の国体へ向けてもそういう判断をしています。

### バイパス工事と並行して改良を実施したい

**町長**

平成19年度から事業に着手



ダム放水後の船着き場

町村合併時の道路計画に番号1としてのせられています。国道49号揚川道路のかねあいもありましたが揚川道路は2010年代開通をめざし、最も大変なトンネル工事は3分の2掘り進んでいます。揚川道路の供用と同時に、町道だんの山線を開通するには、今から設計図をつくり用地の折衝に入らなければならないが、現在の進捗状況をおたずねします。

揚川道路の立体交差位置が決定された段階で、だんの山線の方線を検討して、バイパス工事と並行して改良を実施したいと考えております。



①敬老会対象年齢を喜寿(77歳)にすべきだ  
 ②灯油購入費特別支援、今冬の対応は？  
 ③産業の活性化に全力を注げ  
 (特に堆肥センター設置を急げ)

宮澤 勝見 議員

20年度 敬老会出席状況			
	対象者	出席者	出席率
津川地区	1,091	321	29.4%
鹿瀬地区	758	340	44.8%
上川地区	699	254	36.3%
三川地区	966	274	28.3%
計	3,514	1,189	33.8%

① 質問  
 阿賀町の高齢化は世界一といわれる。世界一が日本で、日本一が新潟県で、県で一位が当町との「ゆえん」である。幸いなことに長寿化が伸長している昨今、私は75歳は若いと感じている。近年敬老会への出席者が三割位である。内訳は、出席したくても、参加できない人、出席はできるが参加しない人と千差万別ですが、「俺はまだ若いから敬老会には行かない」という人が増えている。そういう意気込みも大切にしなければならぬと考えております。以上の理由から75歳から喜寿の77歳にすることによって高齢者が

町長  
 対象者は20年1月1日阿賀町住人で、生活保護世帯、高齢者のみの世帯、高齢者が児童を扶助する世帯、母子家庭、世帯主が障害者世帯、障害者と高齢者のみの世帯、1、186世帯を対象とし、補助致しました。今年も灯油価格が上

切磋琢磨の上で元気に長生きをしてもらいたいと考えている町長のご所見を伺います。  
 町長  
 私もいやしの里づくり、安心・安全のふるさとづくりには一貫しています。75歳、80歳を目標に頑張ることもありますが、併後75歳に統一されるようになりましたのでこれから先を見て行かなければと思っております。  
 町長  
 灯油支援事業ですが、昨年から実施され今年も実施されるのか、実施される場合昨年並なのか、石油類が高くなっているのと同じ5,000円では買う量が減ることになるが対応はどのようにされるのか

町長  
 阿賀の里に町は1億1千万円を貸付しているが明確なる返済期限はあるのか又住民に対して説明責任を果たしているのかお聞きしたい。  
 町長  
 阿賀の里の貸付金の返済についてですが当初できるだけ早く返済し町の財源にしなければと思っていた訳です。しかし阿賀の里はマイナスからのスタートだったのでやっと成果が上がってきたところで、この貸付金の返済計画は当然立てなければならぬと思います。また大新東株に業務委託した事により経費の削減、原価率の削減等改善策を実施しているところです。しかし資金不足は厳しい状況であります。今後の返済計画は会社の体力をつけるため、2・3年の据えおきで15年くらい返済ということで協議しております。また金融機関との調整がつきしだい皆さんに報

がっていますので前向きに検討する必要があります。準備だけはしていてもいいかなと考えており、12月議会以降の補正予算対応かと考えております。  
 町長  
 地域産業活性化、特に農業、商業を問いますが、今国、県、町も経済、財政も疲弊し、我が町の代表産業でもある稲作も米価低迷であり、土建業も地域経済を支えているが、仕事もなく、今や風前の灯火的な中である。昨今の消費者は安全、安心を求め、コシヒカリのうまい米は、また肥料や農薬を多く使う東蒲米は売れなくなつて来ており減農薬、減肥料が国全体に広がっています。農資材の高騰をカバーするため、また荒れた農地を土建業者にも参入してもらうためにもセクター方式から町営で堆肥センターを作ること強く求めます。次に商業特に津川商店街の活性化ですが町長は以前、先頭に立って活性化に取り組むといわれたが何をやって来たか、これから何をやるかとしているか

町長  
 年末大売り出し、ポイントカード二倍セール、町民が買いたい物しやすいように努力しています。商工活動しやすいように事業費に対する支援はきびしい財政でもやって行く必要があります。庁舎関係の必要部品購入は可能な限り調達して行きます。狐の嫁入りや狐の里帰り市の集客を計り長時間町内に過ごしてもらおう方法を考えるべきであり、来年は20回を迎える訳です。皆さんが町を歩いて何となく歩いて行くのではなく商店街の皆さんが、あれだけ大勢来るお客さんを見るもの食べるもので活性化を図る意欲を皆さんにも持って頂きたい。

町長  
 阿賀の里の1億1千万については税金を投入している訳ですから他の金融機関に優先して町に返済すべきだと思います。また貸付金にはすべて返済期限があるはずですが、特に町からの貸付金については期日は明確にしたいと思います。  
 町長  
 今金融機関と交渉中であり返済期日については明確にしていきます。



第三セクターに関連して

佐藤 郁夫 議員

第三セクターの赤字対策について

質問  
 今年三月の決算期で第三セクター関係が軒並大幅な赤字を計上しているが来年もこのような状態が続いた場合、町長はどのような対応を考えているのか。

町長  
 昨年は中越地震などによる、風評被害や原油の高騰等による観光産業は大きなダメージを受けている。本町の第三セクターも軒並みこういう状態であった訳です。そういう中で主要な第三セクターの皆さんからおいでいただき(阿賀町役場)現況とこれからの取組みについて報告を受けた訳です。第三セクターだからといったの甘えを捨てて危機意識をもって取り組んでいく、各第三セクターの役員から見直しをはかしてもらう、このような態勢づくりをしているので、いずれ結果が見えてくると確信しております。そう



上川温泉 みかぐら荘



奥阿賀観光 赤崎荘

いう中で一部ではあるが良い成績のものもあります。また色々手間取っているところもありませんので今後危機意識をもってすばやい対応で取り組んでいきたいと思っております。

阿賀の里貸付金について

質問  
 阿賀の里に町は1億1千万円を貸付しているが明確なる返済期限はあるのか又住民に対して説明責任を果たしているのかお聞きしたい。

町長  
 阿賀の里の貸付金の返済についてですが当初できるだけ早く返済し町の財源にしなければと思っていた訳です。しかし阿賀の里はマイナスからのスタートだったのでやっと成果が上がってきたところで、この貸付金の返済計画は当然立てなければならぬと思います。また大新東株に業務委託した事により経費の削減、原価率の削減等改善策を実施しているところです。しかし資金不足は厳しい状況であります。今後の返済計画は会社の体力をつけるため、2・3年の据えおきで15年くらい返済ということで協議しております。また金融機関との調整がつきしだい皆さんに報



阿賀の里遠景

告いたします。  
 住民への説明責任については第三セクターの状況を報告するなかで広報していきたいと思っております。  
 町長  
 阿賀の里の1億1千万については税金を投入している訳ですから他の金融機関に優先して町に返済すべきだと思います。また貸付金にはすべて返済期限があるはずですが、特に町からの貸付金については期日は明確にしたいと思います。  
 町長  
 今金融機関と交渉中であり返済期日については明確にしていきます。



# 主要地方道新発田津川線の整備と阿賀野川架橋の進捗状況は!!

渡部 英夫 議員

**町長** 平成12年から主要地方道新

**河川協議の予備設計並びに基礎資料作成計画に入る**

**質問** 主要地方道新発田津川線は三川支所から国道49号の間は住宅密集地で道路幅員も狭く交通量が多く大型車のすれ違いもぎりぎりな状態であり、そのうえ小中学校の通学路でもあることから交通事故が心配される道路ですが、これはルート変更して道路建設することが一般的な考え方と思えます。この道路は新潟東港までの高規格道路として、また沿線の三川温泉はじめYOU&湯ホテル三川、三川温泉スキー場、ゴルフ場等々への磐越道三川インター経由で新発田津川線に接続することが希望されている道路であります。かねてから計画中の吉津川口間の阿賀野川架橋計画については県がルートの検討及び調査等の実施に入ったとの話もありませんが、進捗状況についてお尋ねします。



待望久しい阿賀野川架橋

**町長** 平成12年から主要地方道新

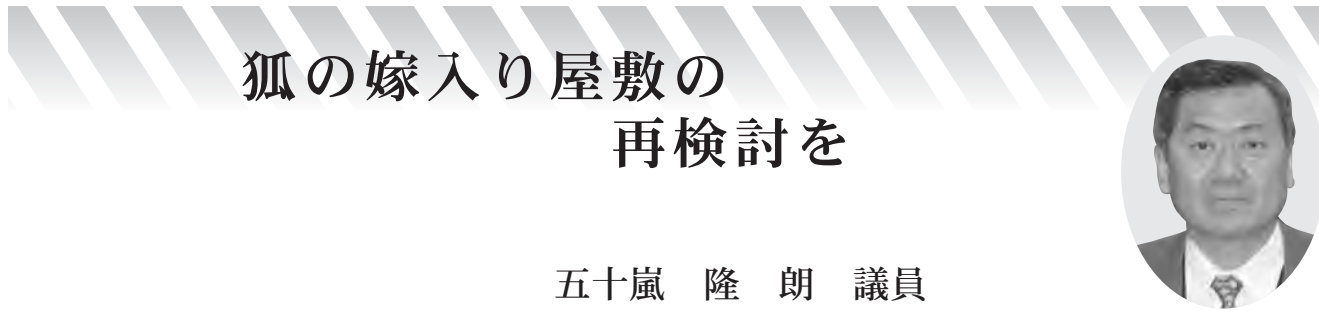
**河川協議の予備設計並びに基礎資料作成計画に入る**

**質問** 主要地方道新発田津川線は三川支所から国道49号の間は住宅密集地で道路幅員も狭く交通量が多く大型車のすれ違いもぎりぎりな状態であり、そのうえ小中学校の通学路でもあることから交通事故が心配される道路ですが、これはルート変更して道路建設することが一般的な考え方と思えます。この道路は新潟東港までの高規格道路として、また沿線の三川温泉はじめYOU&湯ホテル三川、三川温泉スキー場、ゴルフ場等々への磐越道三川インター経由で新発田津川線に接続することが希望されている道路であります。かねてから計画中の吉津川口間の阿賀野川架橋計画については県がルートの検討及び調査等の実施に入ったとの話もありませんが、進捗状況についてお尋ねします。

**町長** 平成12年から主要地方道新

**河川協議の予備設計並びに基礎資料作成計画に入る**

**質問** 主要地方道新発田津川線は三川支所から国道49号の間は住宅密集地で道路幅員も狭く交通量が多く大型車のすれ違いもぎりぎりな状態であり、そのうえ小中学校の通学路でもあることから交通事故が心配される道路ですが、これはルート変更して道路建設することが一般的な考え方と思えます。この道路は新潟東港までの高規格道路として、また沿線の三川温泉はじめYOU&湯ホテル三川、三川温泉スキー場、ゴルフ場等々への磐越道三川インター経由で新発田津川線に接続することが希望されている道路であります。かねてから計画中の吉津川口間の阿賀野川架橋計画については県がルートの検討及び調査等の実施に入ったとの話もありませんが、進捗状況についてお尋ねします。



# 狐の嫁入り屋敷の再検討を

五十嵐 隆朗 議員

**阿賀町の情報発信ステーション**

**質問** 津川地区の県道を通る大型バスは、ほとんどが「狐の嫁入り屋敷」に向うバスです。全国観光地図、パンフレット、カーナビに掲載されているのも、来館の大きな要因と考えます。80%は県外のバスです。また、町の温泉旅館、ホテルは団体客に観光施設、特に酒蔵や「狐の嫁入り屋敷」の見学をサービスとしてしていると聞いております。来館者の話としては、「重厚な木造建築、風景のすばらしさに驚きました。しかし、飲み物もなくお土産も何もないのはもったいない、ミニ物産コーナーを設置してはどうか」など、アドバイスをいただくとのことです。また、この施設は阿賀町の観光の情報発信ステーションとして位置づけ、有効利用するのではなかったのか、町長の考えと、町の計画をお伺いします。



狭い駐車場

**管理を地元外に広く公募も視野**

**町長** 管理を地元にとかわらず、場合によっては、もっと広く公募をして、指定管理でやつたほうが活性化して再生するのではないか、平成19年度、20年度の映像展示蔵の入場者は増えている。だんだんに認知されてきているが、反面内容が悪くなっていることは否めない。再度管理者制度導入も視野に、今後準備を進めてまいる所存です。この秋の行楽シーズンに焦点を合せ、できるだけ早急にこの取り組みをしていきたいと考えています。

**バス駐車場の確保を**

**再質問** 嫁入り屋敷が充実し人が寄れば、町の中を地図片手に散策している人が今より増え、商店街を含めた地域活性化につながるのではないのでしょうか。それとバスの駐車場が無いとクレームが来ている話もあります。

**町長** 「狐の嫁入り屋敷」と結びつけていくことが商店街の活性化に一番望まれることではないでしょうか。名物のお菓子等置ければと思います。町のマップがあっても紹介する人もいない、歩いてても何もなかったこれは大きな障害になっている。観光商店街として生きている姿勢が少し欠けているのではないのでしょうか。そのへんを商店街の皆さん、商工会とも秋に向け連携してやっていきたい。駐車場ですが少し駐車場より歩いてもらう

**宝として、生かしたい**

**町長** せっかく古い歴史と文化がこの地域にはあります。これを宝として生かしていくことが一番大事です。皆さまから提言をいただき対応したい。

**再質問** 今年は、6月はバスが約20台、7月も20台以上、8月は夏休みでもあり2千300人以上の来館者がありました。再生の道は十分あると考えます。

**町長** せつかく古い歴史と文化がこの地域にはあります。これを宝として生かしていくことが一番大事です。皆さまから提言をいただき対応したい。

**阿賀野川架橋計画と連動して早期事業化を図る**

**町長** 寿橋の老朽化はご指摘のとおりです。阿賀野川架橋と隣接することから道路取り付け等を含めた計画作成を県と協議していかねければなりません。早期事業化に向けて要望をして参ります。

**堤防コンクリートの嵩上げ部の早期完成については、堤防を利用して町道岩谷川口線の道路計画を立てており、嵩上げコンクリートの天端が道路の計画高となります。接続されていない箇所については県単独事業で予算が厳しいとのことですが、道路計画と調整を図りながら進めるむね県から回答を得ておりますが、危険箇所でもありますので早急に接続を図って頂くよう今後も県に要望して参ります。**



狐の嫁入り屋敷



# 自殺率はなぜ減らないのか

神田 八郎 議員

**【質問】** この度、民間の「自殺実態解析プロジェクト」という研究グループが「自殺実態白書2008」を公表した。自殺の背景や傾向を調べると、日本で特に注目すべきは①所得の低いことと自殺率は比例すること。②失業率と自殺率とも高齢男性において比例すること。③出生率と自殺率とは反比例すること。即ち、出生率が高いことは、家族の絆が強まり自殺を思いとどまらせているといえる。同白書は305人の自殺者遺族に聞き取り調査を実施し、その要因を以下上位10点列記している。(1)うつ病(2)家族の不和(3)負債(4)身体疾患(5)生活苦(6)職場の人間関係(7)職場環境の変化(8)失業(9)事業不振(10)過労とあり、自殺に至る人はこれらのいくつかの要因を同時に抱えている例が多いという。そして日本の場合、経済的要因等での自殺者が他国と比べ

## 自殺の背景や傾向

て特に多いことが特徴である。と結論づけています。

6月議会での一般質問でも「多重債務者対策」が提案されました。何かつらいことがある時、悩み事がある時、それを誰かにしゃべり、他者に励ましてもらったり、共感されるだけで人は随分と楽になるものではないでしょうか。そのような「駆け込み寺」的な場の提供、ボランティア的人材の発掘、養成が大切かと思えます。家庭、地域、行政の連携で何が必要か所見を伺います。

## サポート体制づくりをしながら対応したい

**【町長】** 平成19年度の県内自殺率は全国ワースト6位で、40〜50歳代の中高年男性及び高齢者の自殺率が全国平均を大きく上回っています。県でも平成18年度より、自殺ワースト10脱出事業として全県的な啓発普及、保健所を核とした地域



いやしの子供たち

の取り組みを強化し一般医の研修など取り組んでいます。当町においても、自殺率は県平均に比べて高くなっています。自殺予防対策にはうつ病対策が不可欠だといわれていることから、当町でも心の健康づくり講演会や各種健康教室での講話または広報紙への掲載、相談窓口のチラシ配布等を継続しています。高齢者については、福祉保健関係の職員を対象に研修を実施し、精神科医を初め地元内科医、社会福祉協議会や民

## 相談しやすい環境づくりを

**【町長】** ポスターもさることながら町の職員の部署で公金徴収係等は多重債務者を発見しやすい立場という機会が多いかと思えますので、そういう中で取り組んでいく必要があると思っています。また、相談に来やすい雰囲気、環境づくりが大切かと思っております。

## 多重債務相談センターのピーアールを

**【再質問】** 県内の弁護士会多重債務相談センターで予約制ですが、月曜から金曜まで無料での多重債務専門の相談を弁護士さんがしてくれていますが、そういうポスターをつくって町内各地域に貼付してはどうでしょうか。



# 拡大する猿被害に 一歩踏み込んだ対策を

伊藤 武一 議員

**【質問】** 年々増え続ける猿害、町の有害鳥獣対策事業の成果が目に見えない、それほどに猿害が広がっております。町では防鳥獣ネットの補助、猟友会に委託し、捕獲等の対策を行っておりますが、猿害についてどこまで把握しているのか。

**【町長】** 猿害につきましては、甚大なものがあります。猿害対策は、どこの地域でも決定的なものがないようで、猟友会の皆さんから捕まっていたことが確実な方法です。捕獲数は99頭、出動数280回、捕獲率は35%です。被害地域は、津川10区、鹿瀬11区、三川17区、上川20区と19年度は把握している。被害面積13.2ha、芋類野菜の被害が大半を占めている。被害金額に換算しますと948万円で自家用野菜等を金額換算したものです。発信機装着については、新

発田市が現在12群の猿に6頭発信機をつけて猟友会の定期的なパトロールで発信機で確認を行い追い払いを実施しているとのこと。発信機が本当にいいのか猟友会と、相談しながらより良い方法で取り組みたいと思います。猿害において耕作放棄地が一因とも推察できる。情報を集めながら対応しなければなりません。

## 小児科の診療体制は!!

**【質問】** 県立病院小児科医の退職により常勤医師が不在で、子育てに大きな不安を抱く。9月から臨時医師の週3回の代診と聞く。全国的に子育て支援が叫ばれている今日、医師不足の現実には制度と逆行するかに見える。津川県立病院産科の休診、ここにまた小児科医の常勤がいなくなることは、県立津川総合病院の科の縮小に繋がる

子供の病気は、大人と違い突発的になる場合があります。また予防接種はしても、流行性感冒等は、例年かかりやすい病気で学級閉鎖もあるのが実状である。子育て支援の児童医療費の助成は勿論であります。小児科医療は子育て支援の一環でもあり、いつでも安心して受診できる小児科医師の常勤務体制を望みます。県・町・病院が一体となり小児科医の確保にご尽力を望みます。

**【町長】** 今後の町の対応をお聞かせ下さい。

小児科外来の診療体制については、患者さん、赤ちゃん検診、定期検診ごとに、こういう状況になるといこうことは保健師さんなどから十分お知らせしているはず。不安のないように皆さんにお知らせをし、子育てで慌てるということもありましようが、保健師等



どうなる小児科……





# 地域活性化について

齋藤 秀雄 議員

**町長** 地域経済活性化のため入札制度の改正を繰り返していますが現状は厳しい環境であることは承知しています。建設関係者は農林業振興の面から大事な産業の担い手です。地域活性化から異業種参入を検討してほしい。来年度要望については、前年度対比でプラス6%程度です。

## 異業種へ参入を望む



にぎわう直売所(上川)

町長 職員で対応できるものは致し、地域事情を考え外部委託できるか判断する。

## 町民の考えを聞く

**町長** 町民の目線で行動するよう研鑽していく。今後は異業種進出や連携を目指して行動できるような関係機関と連携対応していきます。

## 地域活力創出を

**再質問** 地域活力創出には職員は今阿賀町において必要なことは何かいつでも問題意識を持って町民の目線で行動してほしいのですが、いかがお考えか伺います。

## 子育て支援について

**質問** 医療費助成制度の継続はもちろんです。遠距離小児科診療経費の助成制度を検討してはいかがですか。

## 現状を把握して対応

**町長** 医療助成は継続していく、遠距離通院助成は現状を把握しながら対応していく。延長保育については、女性の社会進出、負担軽減等から優しさのある保育に努める。

## 整備工事発注を急ぐ

**町長** 昔の河川が災害査定調査のため見ることができましたので、状況は浚渫作業が必要だと思いますので関係機関と協議していきます。その他の整備工事は発注を急ぎます。なお、コースはB級認定を更新しましたので報告致します。

## 麒麟橋下流公園整備は

**質問** 国体ポート会場としての整備の遅れはどのように対応されるのか伺います。  
コース河川内の浚渫も必要かと思いましたが併せて伺います。



# 明るいあすの見える施策を!!

猪俣 誠一 議員

**質問** 合併後の将来構想も、後期5か年の実施計画の作成に入る。町の現状を見据え、将来像を模索するに、情報基盤整備事業を除くと、町の将来像が見えてこない。行政運営に当たり、各種制度の活用等、職員の努力は認めるが、場あたりの運営に感じられる。長期計画の策定にあたり、財源負担を担う世代が減少している人口、労働力の量的・質的構成、集落機能・構成がどのように推移すると考え、作成しているのか。年度の対応が時流により変化することは否めないが、目標点をしっかりとし、住民に将来の見える行政運営や計画を図ることが重要である。

## 総合計画は基本理念を基軸に

**町長** 国全体が場あたりのという批判もあるが、毎年130から140億の予算を使い基盤整備を将来に向けていることは理解してほしい。

## 将来が懸念される農業の振興策は

計画策定にあたり、人口、年齢構成、産業形態、財政状況等、指標の推移や見込みを設定して、施策を検討している。的確に現状の見込みを把握することが最重要課題である。予算期に単年度の検証はするが、全体的な検証も必要だと思ふ。



今年の自然薯のできはどうか？

**質問** 町の一次産業で、産業の形態を維持しているのは農業だけである。今後、どのようにあるべきと考えているのか。産業としての生産性維持、環境等を踏まえた農地維持、単なる産業形態の維持なのか労働力も含め先の見えない状況

## 米、以外でも収入を得る

**町長** 町の基幹産業であり、水稲単作地帯として、生産基盤の整備がされている。米の需要低下による減反施策により、農地の改廃、耕作放棄、農業離れが増加している。加えて近年の米価の低迷、生産経費増大など、経営の根幹を揺るがす憂慮すべき状況である。農業構造の現状を見詰め、将来を見通した基本構想を作成し、収益性の高い作物、担い手農家の育成・確保、小規模農家の維持・支援等々、地域一体となった農業振興を図ることが肝要である。  
農業公社が特定法人の認定を受け、耕作放棄地の解消などを前提とした農業経営ができるようになり、地域農業の担い手として参入したことは明るい兆しである。

# 統合後の学校林は有効に



星 公司 議員

### 質問

平成22年4月の上川地区小学校統合計画に伴い、関係する地区住民の間では学校林の取り扱いが注目されているところですが、学校林は地区住民が植林会等を立ち上げ、汗水流し、苦勞し育て上げてきたものです。

したがって、学校林は後世のために地区に残し、自由に有効活用できるようにすべきと考えますが、町当局としての所見を伺います。

### 関係者の納得が必要である

#### 町長

学校林の今後の管理、取り扱いについては学校統合推進会議の中で検討させていた

きたいと思えます。

植林から今日までたくさんの方々の思いや手が加えられてここまで育ててきた学校林でありますので、保護者、地域の皆様の意向を大切にしながら、3校が納得できる結論を出していく必要があると考えているところであります。

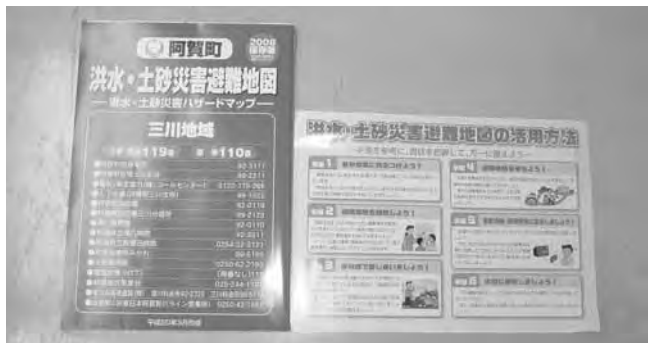
### 意見には十分な配慮を

#### 教育長

例えば教育林(仮称)として残す、上条小に持ち込む、伐採し換金するなど考えられますが育林に当たった方々を中心にいろいろ意見を聞き、その意見が実現できるように我々も十分に配慮していきたいと思っております。



どうなる学校林……



これでいいのかハザードマップ

## 洪水・土砂災害避難地図の活用説明会

### 質問

今年も各地で災害が発生していますが、当町でも災害対策として去る6月に「阿賀町洪水土砂災害避難地図」が町内全世帯に配布されたところであります。

しかし、避難場所の確認や集落での話し合いがまだされていない所が多く見受けられるのが現状です。

万一、何かあったらどうしようと言った不安を訴える高齢者や障害者を抱える家族がいるのも事実であり、要援護者の不安解消のため住民の生命、財産を守るため被害を最小限に食いとめるためにも改めて住民に対し説明すべきと考えますが町長の所見を伺います。

### 町長

県とともに土砂災害警戒区域の指定を行うため、対象地区への説明を実施しております。今後説明会の際に研修事例を活用し避難地図の活用方法についても説明していきたいと思います。

また、高齢者世帯、ひとり暮らし世帯及び障害者世帯につきましても、町民生活課で把握していますので民生委員、児童委員、区長の皆さんにも地域協働と行政との協働についてご理解をいただき、要援護者の支援体制整備や、区全体を自主防災組織ということでの育成にあわせて取り組んでいかなければならないと思っております。今後ご指摘いただいたようなことを参考に取組んでまいりたいと思っております。

# わが町の再生を願う

津川に戻ってきて三年が経とうとしています。帰省する時、五泉を過ぎ山々が迫ってくるとホッとしました。人をなごませてくれる山々や川を持つ阿賀が年々元気がなくなっているのには私だけではないか。人口の減っていく様、静けさだけが漂う商店街、ここに暮らすことに決めたのにいろいろな面で切ない思いをします。不満ばかりを書き連ねるのは抵抗がありますがどうして思うことがありすぎるのです。プロの手に染まり素朴さがなくなり商業的すぎる出店ばかりのきつねの嫁入り、海産物をおみやげにするジパンがお金だけかかる大きな火を燃やしてみたり、作るだけ作って遊具の安全点検もできていない公園、小百合を根こそぎ削ってまで作ったハーバルパークなのになので働く人材

を大切にもしないし、育てようと思わない、町の一番の財産はこの土地の為にがんばってくれている人材ではないか。自然の恩恵を受けるにはそこに住む人々の努力が必要だと思います。それをまとめ、生かし、いつくしむことしかり、生意気とは思いますが、日々感じていることです。



癒しのシンボル、ハーバルパーク

# 若者の意見・提言

## 子どもが笑える町とは

今回の「議会だより」の原稿に何を書こうかと考えた時、この題名が思い浮かびました。現在私は、新潟中央短期大学(保育士や幼稚園教諭を指す)に通っています。学校ではその特色上、子ども達と触れ合う機会が多いのですが、関わる子ども達はその子ども笑顔で溢れています。それは子ども達も周りの大人や友達、そして何よりも両親とのコミュニケーション(愛着)が成立しているからだと思います。

今、社会では、親が自分の子どもを殺めようという事件が多発しています。それは、コミュニケーション(愛着)が足りないからだ、私は考えています。社会情勢の変化もその理由の一つではありますが、全てをそのせいにするのは少し違う様な気がします。子育てに自信がなくなってきたから、不安を覚えたからというのは子どもや他人との関係が上手くいかない自分自身に対する苛立ちの表れである、と私は思います。



すなおに育て子供達



白崎区 瀧澤 匠

私たち大人同士においても、人間関係の向上にはコミュニケーション(大人の場合は「信頼」が必要であります。これが大人対子どもにおいては更に重要なことです。子どもが笑える町には、「愛着」と「信頼」が必要になってくると私は考えています。これは、阿賀町だけではなく、現代社会の実情を考えれば、日本全国でも同じことが言えるのではないのでしょうか。